

茨木市消防の沿革

昭和23年	10月1日	消防組織法の施行により、吹田市外1市14村組合消防から分離し、自治体消防として茨木市消防本部（署）が発足 所在地 茨木市大字茨木官有地 職員 14人、消防ポンプ自動車2台 ◆初代消防長 高島 好隆 就任
昭和24年	2月20日	本部庁舎移転 所在地 茨木市大字茨木1110番地
	12月28日	◆第2代消防長 森本 又二 就任
昭和25年	1月6日	第1回茨木市消防出初式挙行 参加車両等 署3台 団1台 手引10台
	9月20日	茨木市消防委員会設置
	10月1日	人口 34,820人
昭和26年	12月20日	本部庁舎移転 所在地 茨木市大字茨木三島郡役所跡
昭和27年	11月28日	茨木市職員条例定数の改正（消防職員 33人）
昭和29年	2月10日	安威村、玉島村編入。人口44,099人、面積 28.70km ²
	4月	◇初代消防団長 中島 純蔵 就任
	12月5日	本部庁舎移転 所在地 茨木市大字下中条381番地の1
昭和30年	4月3日	福井村、石河村、見山村、清溪村編入。 人口45,718人、面積 69.69km ² 救急運用開始
昭和31年	11月19日	茨木市職員条例定数の改正（消防職員 28人）
	12月25日	豊川村一部編入。人口58,434人 面積 75.19km ²
昭和32年	3月30日	三宅村編入。人口63,721人 面積 78.26km ²
昭和33年	3月31日	望楼竣工。RC造、高さ33m
昭和34年	4月3日	茨木市職員条例定数の改正（消防職員 32人）
昭和35年	10月1日	人口71,859人 面積 75.16km ²
昭和36年	3月3日	庁舎新築。鉄筋鉄骨造3階建
	4月1日	茨木市職員条例定数の改正（消防職員 42人）
昭和38年	7月15日	救急車1台 本署に配置（名神 救急事務開始）
昭和39年	1月8日	第1回茨木自衛消防隊出初式挙行 参加隊12隊 参加人員84人
昭和40年	3月31日	茨木市職員条例定数の改正（消防職員 58人）
	4月1日	茨木市消防署西分署人員17人で開設 所在地 茨木市五日市緑町5番10号 消防ポンプ自動車1台、水槽付ポンプ自動車1台、救急車1台

昭和41年	10月21日 12月14日	茨木市職員条例定数の改正（消防職員 74人） スノーケル車1台 本署に配置
昭和42年	4月1日	茨木市消防署東出張所人員8名で開設 所在地 茨木市稲葉町16番25号 消防ポンプ自動車1台
昭和43年	4月1日 8月15日	茨木市職員条例定数の改正（消防職員 80人） 消防特別救助隊発足（本署） テレビ監視カメラを市役所屋上に設置
昭和44年	2月25日 3月31日 11月1日 12月18日	5t水槽車1台 本署に配置 茨木市職員条例定数の改正（消防職員 90人） 赤バイ隊発足（本署） ◆第3代消防長 続木 清 就任
昭和45年	4月1日 4月 4月27日 10月1日	茨木市職員条例定数の改正（消防職員 100人） ◇第2代消防団長 秋田 伊三郎 就任 茨木市消防署南分署人員15人で開設 所在地 茨木市松ヶ本町10番35号 消防ポンプ自動車1台、水槽付ポンプ自動車1台、救急車1台 人口 163,903人
昭和46年	3月31日 12月16日	茨木市職員条例定数の改正（消防職員 108人） はしご車（32m級）1台 本署に配置
昭和47年	4月1日	茨木市職員条例定数の改正（消防職員 118人）
昭和48年	1月16日 3月7日 4月1日 12月1日 12月25日	本部庁舎移転 所在地 茨木市東中条町2番13号 茨木市消防署北分署人員17名で開設 所在地 茨木市西河原二丁目16番17号 消防ポンプ自動車1台、水槽付ポンプ自動車1台、救急車1台 茨木市職員条例定数の改正（消防職員 130人） 茨木市消防署東出張所が東分署（人員17人）に昇格 消防ポンプ自動車1台、水槽付ポンプ自動車1台、救急車1台 消防救急指令装置B型を配置
昭和49年	1月6日 4月1日	石油ショックにより市及び自衛消防隊の両出初式を中止、表彰式を実施 茨木市職員条例定数の改正（消防職員 145人）
昭和50年	3月8日 4月1日	第1回市民と消防フェスティバル開催(阪急茨木市駅前) 茨木市職員条例定数の改正（消防職員 153人） 茨木市消防署北辰分署人員13人で開設 所在地 茨木市大字泉原38番地の8 消防ポンプ自動車1台、救急車1台、搬送車1台
昭和51年	3月3日	スクアート車1台 本署に配置

昭和52年	2月16日	10t水槽車1台 本署に更新
昭和53年	3月9日	化学消防車Ⅱ型1台 西分署に配置
昭和54年	2月6日 3月31日 12月6日	10t水槽車1台 西分署に配置 茨木市職員条例定数の改正（消防職員 159人） 茨木市消防署音楽クラブ結成
昭和55年	3月5日 4月1日 5月1日 10月1日 12月12日	はしご車（38m級）1台 本署に配置 茨木市職員条例定数の改正（消防職員 163人） 全国消防長会予防委員会を開催（1日・2日） 於 豊川五丁目 富士火災海上保険（株） 人口 234,062人 耐震性貯水槽（100t）中央公園北グラウンドに完成（第1号）
昭和56年	2月1日 3月24日 3月31日 4月28日	茨木市消防音楽隊発足 救助工作車1台 北分署に配置 茨木市職員条例定数の改正（消防職員 173人） 全国消防長会近畿支部総会を開催 於 市立中央公民館
昭和57年	3月31日 4月1日 4月5日 9月 11月17日	茨木市職員条例定数の改正（消防職員 183人） 茨木市消防署白川分署人員10名で開設 所在地 茨木市白川二丁目11番1号 消防ポンプ自動車1台、水槽付ポンプ自動車1台、救急車1台 搬送車1台 ◆第4代消防長 田中 春之 就任 ◇第3代消防団長 西川 源三郎 就任 耐震性貯水槽（100t）双葉町府営住宅児童遊園（現在：市営駐輪場）に完成
昭和58年	7月6日	防犯防火交通安全を推進するため「七夕のつどい」を開催 於 国鉄茨木駅西口広場（現在：JR茨木駅西口広場）
昭和59年	7月10日	茨木市職員条例定数の改正（消防職員 201人）
昭和60年	4月1日 10月1日 12月25日	茨木市消防署山手台分署人員11名で開設 所在地 茨木市山手台二丁目2番23号 消防ポンプ自動車1台、水槽付ポンプ自動車1台、救急車1台 搬送車1台 （消防救助隊編成運用開始） ◆第5代消防長 中畑 榮藏 就任 耐震性貯水槽（100t）總持寺公園に完成
昭和61年	3月31日	茨木市職員条例定数の改正（消防職員 203人）
昭和62年	9月30日	耐震性貯水槽（100t）西河原公園テニスコートに完成

平成元年	4月1日	茨木市消防署西分署 移転新築 所在地 茨木市下井町2番3号
平成2年	1月10日 3月31日 4月1日 8月27日 10月1日	耐震性貯水槽(100t)玉櫛区画整備公園に完成 茨木市職員条例定数の改正(消防職員 209人) 茨木市婦人防火クラブ連絡協議会 結成 耐震性貯水槽(100t)六軒町橋児童遊園に完成 人口 254,080人
平成3年	4月1日	茨木市消防署東分署 移転新築 所在地 茨木市水尾三丁目18番15号
平成4年	2月28日 3月1日 10月1日 12月2日	はしご車(30m級)1台 東分署に配置 ◆第6代消防長 才脇 芳喜 就任 4分署の名称を変更 東分署を水尾分署、西分署を下井分署 南分署を松ヶ本分署、北分署を西河原分署 救急救命士第1号誕生
平成5年	3月31日	茨木市職員条例定数の改正(消防職員 219人)
平成6年	3月31日 4月1日 4月	茨木市職員条例定数の改正(消防職員 223人) 高規格救急車1台 本署 運用開始 ◇第4代消防団長 西原 利雄 就任
平成7年	1月17日 3月9日 4月1日 7月1日 10月1日 10月16日 10月31日 12月15日	午前5時46分「阪神・淡路大震災」兵庫県南部地域(M7.2) 最大震度7 耐震性貯水槽(100t)沢良宜浜区画整備公園に完成 高規格救急車1台 下井分署 運用開始 震災対策用資機材(斧、掛矢、鋸、つるはし、パール、スコップ) を本署・分署及び消防団本部・各部に配備 人口 258,233人 飲料水兼消防用耐震性貯水槽(120t)中央公園南グラウンドに完成 本部庁舎耐震補強工事【第1期】完了(3階) 1月17日「防災とボランティアの日」制定
平成8年	1月16日 2月5日 2月6日 3月25日 3月26日 3月31日 4月1日 4月16日 10月1日 12月9日	エアテント配備 耐震性貯水槽(100t)保健医療センターに完成 救助工作車更新(西河原分署) 職員定数 228名 計測震度計 水尾分署に設置 本部庁舎耐震補強工事【第2期】完了(1・2階) 耐震性貯水槽(100t)舟木公園に完成 消防総合情報システム(Ⅱ型3台)運用開始 高規格救急車1台 水尾分署 運用開始 消防総合情報システム完成式を実施 面積 76.52km ² はしご車(40m級)更新(本署)
平成9年	3月21日 3月25日 11月4日 11月21日 12月15日	災害監視カメラ装置(市役所南館屋上)更新 旧通信指令室(3階)を 仮眠室・休養室に改装 耐震性貯水槽(100t)上中条公園に完成 スノーケル車を はしご車(15m級)に更新(白川分署) 水槽付消防ポンプ車1台 更新(下井分署) 耐震性貯水槽(100t)三島丘公園に完成

平成10年	3月 1日	◆第7代消防長 田村 哲 就任
	3月 16日	電源照明車1台 更新 (山手台分署)
	3月 21日	耐震性貯水槽(100t) 玉瀬北公園に完成
	4月	◇第5代消防団長 小林 靖彦 就任
	10月 10日	茨木市消防署松ヶ本分署 移転新築 下穂積分署に名称を変更 所在地 茨木市下穂積一丁目7番10号 消防救助隊を西河原分署から下穂積分署に配置替え 救助工作車1台、水槽付消防ポンプ車1台、救急車1台、 搬送車1台、高圧ガス充填施設

平成11年	3月 4日	水槽付消防ポンプ自動車1台 更新 (山手台分署)
	3月 17日	救急車1台 更新 (山手台分署)
	3月 30日	茨木市職員条例定数の改正 (消防職員 232人)
	4月 1日	初の女性消防士1人採用 高規格救急車1台 西河原分署 運用開始

平成12年	3月 6日	消防ポンプ車(4WD) 1台更新 (本署)
	3月 27日	西河原分署耐震補強工事完了
	4月 1日	高規格救急車1台 下穂積分署 運用開始
	5月 19日	◆第8代消防長 武田 忠義 就任
	10月 1日	人口 260,648人
	11月 30日	耐震性貯水槽(100t) 蔵垣内公園に完成

平成13年	2月 15日	北辰分署耐震補強工事完了
	3月 1日	消防ポンプ車(4WD) 2台更新 (下井分署・山手台分署)
	4月 1日	高規格救急車1台 白川分署運用開始
	5月 10日	消防ホームページ運用開始
	6月 24日	「市民救命士」制度の創設
	7月 12日	総務課連絡車(ハイブリッドカー) 更新

平成14年	2月 15日	山手台分署訓練塔改修工事完了
	3月 14日	消防ポンプ自動車(4WD) 2台更新 (西河原分署・北辰分署)
	3月 31日	茨木市消防委員会廃止
	4月 1日	高規格救急車1台 山手台分署運用開始
	7月 1日	新夏服、活動服着用
	10月 1日	新制服着用
	10月 18日	白川分署改修工事完了

平成15年	1月 12日	茨木市消防出初式挙行 (茨木消防自衛隊との合同開催) ※消防出初式の開催日については、1月6日以降の第1日曜日とする
	3月 11日	消防ポンプ自動車(4WD) 1台更新 (白川分署)
	3月 28日	高規格救急車1台更新 (本署)
	3月 31日	飲料水兼消防用耐震性貯水槽(100t) 桑田公園に完成
	4月 1日	高規格救急車1台 北辰分署運用開始 ◆第9代消防長 河井 亨 就任

平成16年	1月 20日	水槽付消防ポンプ自動車(4WD) 1台更新 (北辰分署)
	2月 17日	消防ポンプ自動車(4WD) 1台更新 (水尾分署)
	6月 1日	はしご車配置替え (下井⇄水尾)
	7月 15日	予防広報車1台更新 (予防課)
	9月 1日	携帯メールによる119番通報システム運用開始
	10月 29日	指揮統制車(4WD) 1台更新 (警備課)

平成17年	1月25日	緊急援助用ゴムボート配置（下穂積分署）
	3月28日	高規格救急車1台更新（水尾分署）
	4月1日	署・分署の夜間受付勤務を廃止
	10月12日	人員輸送車1台更新（下穂積分署）
	10月13日	災害用資機材搬送車1台更新（山手台分署）
	12月5日	携帯電話119番通報直接受信整備完了
平成18年	1月20日	山手台分署改修工事完了
	3月9日	水槽付消防ポンプ自動車（4WD）1台更新（下穂積分署）
	3月24日	高規格救急車1台更新（下井分署）
	4月20日	「ISO14001」認証取得キックオフ宣言
	12月12日	指揮車（4WD）1台更新（本署）
平成19年	1月19日	「ISO14001」登録証交付
	3月28日	高規格救急車1台更新（下穂積分署）
	4月1日	高機能消防総合情報システム運用開始 ◆第10代消防長 内田 敬久 就任
	4月19日	高機能消防総合情報システム運用開始式を実施
	6月12日	ボート船外機配置（下穂積分署）
	7月1日	エコ三輪自転車運用開始
	9月6日	広報車更新（予防課）
	10月1日	代休日制度の導入
	10月1日	特別救助隊を専務化（下穂積分署）
	10月1日	救急隊を専務化（下井分署）
	11月5日	女性消防吏員の隔日勤務開始（本署・下井分署）
	11月26日	災害用資機材搬送車1台更新（下穂積分署）
平成20年	1月25日	高規格救急車1台更新（西河原分署）
	3月7日	水槽付消防ポンプ自動車（4WD）1台更新（本署）
	3月25日	赤バイク運用（北辰、山手台）
	4月1日	機構改革：警防第一課と警防第二課を警防課、救急救助課に変更 災害情報伝送システム（茨木消防メール）運用開始
	4月1日	指揮隊運用開始（本署）
	7月	◇第6代消防団長 山田 武司 就任
	11月9日	消防本部のマスコット「消防犬ラッキー」（着ぐるみ）作成
	12月2日	下井分署改修工事完了（太陽光発電設置）
	12月29日	新消防防火衣（セパレート式）導入
平成21年	4月1日	◆第11代消防長 山本 雅之 就任
	10月18日	「いばらき童子」（着ぐるみ）作成
	10月20日	緊急雇用創出事業を活用した「消防水利点検業務事業」を実施
	11月1日	児童防火教育開始（3ヵ年計画で全32小学校訪問）
	11月2日	緊急雇用創出事業を活用した「住宅用火災警報器設置促進事業」
平成22年	1月19日	ISO14001認証更新
	3月26日	高規格救急車1台更新（本署救急車2）
	4月1日	「救急安心センターおおさか」事業へ参画
	4月1日	初の女性救急救命士誕生（本署）
	7月2日	茨木市災害予防協会からミニ消防車の寄贈
	7月9日	高規格救急車1台更新（白川分署）
	10月15日	水尾分署改修工事完了
	10月29日	搬送車（4WD）1台更新（下井分署）
	1月20日	水槽付消防ポンプ車1台更新（白川分署）
	2月9日	水槽付消防ポンプ車1台更新（水尾分署）
	2月15日	日本消防協会より広報車（4WD）の寄贈（本部）
	3月17日	10t水槽車1台更新（下井分署）

平成23年	3月11日	14時46分「東日本大震災」宮城県東南東沖（M9.0） 最大震度7
	4月1日	大阪府からの権限移譲により保安三法（火薬類取締法、高圧ガス保安法、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律）事務を開始（予防課）
	5月25日	茨木市災害予防協会よりミニ救急車の寄贈
	7月28日	高度救助資機材導入 （画像探索機Ⅰ型、Ⅱ型、地中音響探知機、熱画像直視装置、夜間用暗視装置、地震警報器）
	6月29日	茨木市災害予防協会よりミニ消防車等搬送用トレーラー1の寄贈
	11月5日	本署ボート吊り下げ用電動ウインチ設置
	12月21日	高規格救急車1台更新（下井分署） 災害対応小型自動二輪車2台運用開始（本署・下井分署）
平成24年	1月16日	救助工作車（Ⅲ型）1台更新（下穂積分署）
	3月21日	茨木市消防署西河原分署 移転新築 所在地 城の前町1番10号
	3月27日	広域避難地西河原公園及び消防署西河原分署の竣工 消防署西河原分署が新庁舎に移転し業務を開始 消防救助隊を下穂積分署から西河原分署に配置替え
	4月1日	高度救助隊（愛称スーパーレスキューシールド）が発隊
	4月1日	児童防災教育開始（全32小学校訪問）
	6月29日	広報車（ハイブリッド）更新（本署）
	9月27日	災害用資器材搬送車1台更新（西河原）
	10月23日	調査車更新（本署）
	11月18日	ISO14001の承認登録を返上し、「エコオフィスプランいばらき（第4版）」を開始
	11月19日	第1回茨木市消防本部警防錬成会を開催（9隊36人）
平成25年	3月8日	高規格救急車1台更新（下穂積分署）
	3月15日	高規格救急車1台更新（本署） 水槽付消防ポンプ自動車1台更新（下穂積分署）
	3月29日	水槽付消防ポンプ自動車1台更新（下井分署）
	4月1日	茨木市職員条例定数の改正（消防職員 239人） 消防救急デジタル無線システム運用開始 茨木市消防団に初の女性消防団員（5人）が入団 茨木市消防団部長以下の定年を60歳から65歳に引き上げる
	7月31日	本署搬送車1台更新 茨木市災害予防協会から消火体験装置「ケスゾー」の寄贈
	10月21日	本署はしご車（40m級はしご付消防自動車）更新
	11月27日	第1回大阪府下警防技術指導会参加
	11月28日	茨木ライオンズクラブから消防機動二輪車1台を寄贈
	12月26日	消防機動二輪車1台を購入
平成26年	1月7日	赤十字奉仕団から消防機動二輪車1台を寄贈
	2月1日	消防機動二輪車（3台）の運用開始
	3月28日	電源照明車から照明車へ更新
	4月1日	◆第12代消防長 萩原 利雄 就任
	4月1日	女性消防団員5人入団（合計10人）
	5月28日	全国消防職員意見発表会（仙台市） 近畿支部代表（入賞）
	7月1日	福知山市花火大会火災に伴い、火災予防条例の改正
	7月26日	第43回消防救助技術近畿地区指導会に本市初の女性隊員出場
	8月10日	台風接近に伴う避難準備情報及び避難勧告を発令（茨木市初）
	11月7日	搬送車1台更新（白川分署）
	11月8日	「市民と消防フェスティバル」を「いばらき安全安心フェスタ」に改称
	12月17日	茨木市職員条例定数の改正（消防職員 280人）

平成27年	2 月 17 日	タンザニア・シーハ県への水槽付消防ポンプ自動車 1 台・救急車 2 台寄贈
	2 月 18 日	水槽付消防ポンプ自動車から救助工作車（Ⅲ型）へ更新（山手台分署）
	3 月 13 日	高規格救急車 1 台更新（北辰分署）
	3 月 25 日	日本機械金型株式会社から高規格救急車 1 台寄贈（水尾分署）